

# 議会

# だより

# 87

6月定例議会号

平成23年8月

発行 佐呂間町議会



「ウーン、日本の琴、ムズカシイデスネ！」パーマ市交換留学生：琴体験 6/23撮影

<b>6月定例会</b>	審議した議案 2～4 P	町長行政報告 5 P
一般質問	「佐呂間町のごみ処理事業について」など3名の議員が質問 6～8 P	
<b>第3回臨時会</b>	審議した議案 / 町長行政報告 9 P	
<b>議会報告会</b>	10～12 P	
<b>議会ニュース</b>	13～14 P	<b>あとがき</b> 14 P



# さろま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

佐呂間町ホームページ <http://www.town.saroma.hokkaido.jp/>

「議会だより」は再生紙を使用しています

# 第2回定例会

第2回定例会が6月15日と16日の2日間で開催され、一般会計と特別会計の補正予算ほか7件の議案審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

・審議した議案

## 一般会計 補正予算

### 審議した議案

**佐呂間厚生クリニック改修工事**  
2階の遮断工事及び電気機械設備改修工事等のため  
4293万円の補正予算を計上!

災害に備え防災用備蓄品に259万円!

### 予算

□平成23年度佐呂間町一般会計補正予算(第2号)  
3210万円が追加され、予算の総額が54億1320万円になりました。

【主な歳入】

- ・森林整備加速化・林業再生事業補助金 249万円
- ・土地・建物売払収入 368万円
- ・財政調整基金繰入金 5000万円
- ・災害復興基金繰入金 306万円

### 審議した議案

・各公共施設整備基金繰入金 4000万円

・前年度繰越金 1840万円

・ふれあいバス運行業務委託事業費債 3720万円

・佐呂間厚生病院運営助成事業費債 7120万円

・プレミアム付商品券発行事業費債 2060万円

【主な歳出】

- ・佐呂間厚生クリニック改修工事 4293万円
- ・造林事業工事請負費 179万円
- ・公営住宅内部改修工事 147万円
- ・災害対策用備品等購入費 259万円

### 審議した議案

・教育施設整備基金積立金 284万円

・佐呂間町国民健康保険特別会計繰入金 2500万円

□平成23年度佐呂間町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入予算の総額に増減はありませんでした。

【主な歳入】

- ・医療給付費分現年度課税分 309万円
- ・後期高齢者支援金分現年度課税分(普通徴収) 185万円
- ・介護給付金分現年度課税分 250万円
- ・その他一般会計繰入金 2500万円
- ・国民健康保険事業基金繰入金 1800万円
- ・その他繰越金 3381万円

### 条例

□職員の子供休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

国家公務員及び地方公務員の子供休業等に関する法律が改正されたことに伴い、本町の条例も改正することとし、改正前までは非常勤職員は育児休業が取れなかったものが、改正後は一定の要件を満たす場合は育児休業等が取得可能となりました。

□佐呂間町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

国保税の賦課限度額を国の基準と同額の医療一般分51万

# 第2回定例会

・審議した議案

円(1万円増)、後期高齢者支援分14万円(1万円増)、介護納付金分12万円(2万円増)に見直しするため条例の一部改正をするものです。

## その他

佐呂間町過疎地域自立促進市町村計画の変更について

過疎計画については、平成22年度から6年間の計画で策定済みですが、来年度以降、過疎債の借り入れ対象となる事業を追加するための計画変更です。

計画に追加する事業は、特別養護老人ホームの暖房設備改修工事、遠軽厚生病院の医療機器整備事業、佐呂間厚生クリニックの運営損失補填のための地域医療維持助成事業の3点です。

□損害賠償の額の決定について

公用車(除雪車)の事故により町が行う損害賠償の額が次

のとおり決定となりました。

・損害賠償の額

16万2292円

・損害賠償の相手方

浜佐呂間 堀米克宣さん

□工事請負契約の締結について

次の契約が締結され工事が行われることとなりました。

公営住宅新築工事(若佐)

(建築主体)

・契約の方法 指名競争入札

・契約金額 1億2810万円

・工期 平成23年12月20日

・契約の相手方

佐呂間町字宮前町

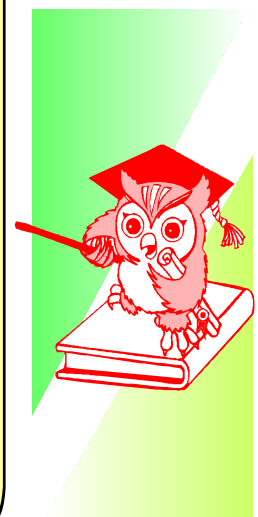
高橋・岸特定建設工事共同企業体

代表者 高橋土建株式会社

代表取締役 高橋 俊道



## 議案質疑の中から



◎国保税の収納率について

【質問】収納率が若干落ちていると聞くが、収納に全力を挙げていただきたい。

【答弁】確かに21年度までは、収納率は98%を上回っていたが、22年度は98%を下回った。

下がってはいるものの、全道的に見て悪い収納率ではないと考えるが、ご指摘のとおり現年度分、特に収納率を上げていくような努力をしていきたいと考える。

◎損害賠償について

【質問】今回の損害賠償については、町公用車側の過失とすることが、運転手に対する処置は。

【答弁】職員が交通事故等に関する場合は、交通事故審査委員会があり、年2回ほど審査会で検討し、その後処分をしている。

【質問】過失割合が高いなど

の場合は、年2回と言わず、速やかな注意が必要では。

【答弁】年2回としていますが、事故の内容等により早急に違反の処分を本人に伝える体制を検討したい。

◎若佐公営住宅新築工事について

【質問】新しい公住は、若佐保育所の前に建つが、取り付け道路を広くすることは考えないのか。

【答弁】公住ができれば交通量も増えるので、今後検討させていきたい。

【質問】新しい公営住宅の電球をLEDにしていこう考えはないのか。

【答弁】LED電球は今回の設計は入れていないが、省エネタイプの照明器具にしている。LED電球は高価なもので、だんだん安くはなってきたので、今後はなるべく取り入れるように考えたい。

# 第2回定例会

1件の意見書が可決され関係大臣等に提出しました。

報告2件の審議を行い、すべて可決しました。

・審議した議案

交通運輸行政の充実を  
求める意見書等を可決!

意見書



□住民の安全・安心なくらしを支える交通運輸行政の充実を求める意見書の提出について

昨年6月22日に政府は、「地域主権戦略大綱」を閣議決定し、国の出先機関を原則廃止との方針を打ち出し、地方運輸局も対象とされた。しかし住民の安全・安心な交通と運輸を確保するには地方運輸局の充実が必要なことから、交通運輸行政を国が責任を持って実施するよう関係機関に要望する意見書が可決され、衆参両院議長ほか関係大臣宛に提出しました。

報告

□平成23年度第1回定期監査報告書の提出について  
平成22年度会計の定期監査が5月10日から20日の間の5日間実施され、その結果について代表監査委員より適正に処理、運営されていたとの報告がなされました。

□繰越明許費繰越計算書について

平成22年度の一般会計からは14件、1億5252万7千円の事業が23年度に繰越となりました。

□事故繰越計算書について

東日本大震災の影響により事業の年度内完了が困難となり、公的個人認証サービス窓口機器購入事業と太陽光発電システム設置事業補助金の2件、89万3千円が23年度に繰越となりました。

## 平成22年度 佐呂間町繰越明許費繰越計算書（一般会計）

（単位：円）

事業名	翌年度繰越額	事業名	翌年度繰越額
<b>【総務費】</b>		西富公営住宅物置建替工事	3,610,000
若佐コミセン駐車場整備工事	14,400,000	<b>【教育費】</b>	
ふれあいバス車両購入事業	14,400,000	若佐小学校管理棟屋根葺替工事	7,130,000
ふれあいバス車庫改修工事	4,290,000	浜佐呂間小学校特別教室解体撤去工事	9,700,000
バスターミナル等舗装補修工事	4,050,000	移動図書館車購入事業	5,800,000
<b>【衛生費】</b>		図書館書棚整備工事	4,000,000
サロマ斎場屋根塗装工事	2,550,000	図書館視聴覚室備品購入事業	530,000
<b>【農林水産業費】</b>		図書館図書購入事業	5,000,000
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	46,827,000	武道館・温水プール改修工事	30,240,000
<b>【土木費】</b>		合 計	152,527,000



# 第2回定例会

## ・町長行政報告



### 町長行政報告

(要旨)

#### □農作物の生育状況

春は低温が続き、作付けが全体的に遅れ、特にビートは10日以上の遅れを生じる圃場もあり、町、農協等の職員が5月17日から援農支援を行いました。

牧草は生育が遅れ、収量そのものへの影響が心配ですが、天候の回復とともに生育も盛り返しています。

#### □牧野の入牧状況について

5月21、22日で入牧し、減少が続いていた入牧頭数も徐々に増加傾向となり、5月末現在、6ヶ所の牧野で775頭が預託されています。

#### □漁業について

外海はたて稚貝放流は天候に恵まれ5月18日から25日の8日間で終了し、予定していた9327万粒に対し9714万9千粒をC海区に放流しました。

### 佐呂間町内の高齢者支援のために

### あんしんQR事業を準備中!!

まず稚魚は、本年度から河川放流に切り替え、5月6日に富士と若里からそれぞれ放流しました。

外海はたて漁業は、6月1日から本操業し、漁獲目標が7600トンと少ないことから、1隻の日産操業は6月の上旬は6トン、下旬は15トンで今後の貝の状況を見て日産20トンまで増産する予定です。

漁港整備事業は、富士本港で用地測量や物件調査などが9月から実施されます。

若里分港は、新港の舗装工事が始まり、今後は旧港の物揚場改良工事が8月に、新港の北防波堤・突堤新設工事が9月に発注されます。

#### □公共事業の執行状況

浜佐呂間漁港は浚渫工事が6月下旬から実施されます。昨年度末に補正した交付金事業の12件、総額9560万円の事業のうち、5月末での発注状況は6件で4950万円、発注率は57%です。23年度の主な工事と委託の

事業は42件で、総事業費4億980万円を予定、この内5月末の発注状況は13件で9500万円、発注率26%です。

#### □農協が進めるTMRセンター建設工事について

5月連休明けに入札があり町内の2業者が参加した企業が受注し、来年8月の飼料供給に向け順調に事業が進められています。

麦の乾燥施設増設工事は、本年度の小麦の受け入れに向け、期限までには完成されると報告を受けています。

#### □東日本大震災について

管内全18市町村とオホーツク総合振興局で取り組む、東日本大震災の被災地支援「オホーツク絆プロジェクト」の第一弾が5月28日、29日

で実施され岩手県大船渡市と宮城県東松島市に管内の特産品を提供し、職員を1名派遣しました。今後第二弾、第三弾と計画中です。

また、職員1名が、所属組織の要請で1週間程度、岩手

県宮古市で支援活動を行ってきました。

#### □「佐呂間町高齢者あんしんネットワーク会議」の設立について

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、高齢者やその家族への総合的な支援を目的に「佐呂間町高齢者安心ネットワーク」会議が5月24日に設立しました。

この会議は町内の福祉団体や自治会連合会、遠軽警察署など16団体で構成し、高齢者虐待対策、認知症対策、消費者被害対策、家族介護支援など高齢者に対する総合的な支援を行います。

中でも一人暮らしの高齢者などを対象に、本人の氏名、通院先や緊急連絡先などの情報を入手し、家庭内での保管や携帯が可能なQRコードによって緊急時の救急医療や家族などへの連絡を容易に出来る「佐呂間町高齢者あんしんQR事業」の実施に向け準備を進めています。

# 第2回定例会

3名の議員が理事者の考えを質しました。

・一般質問

## 一般質問



安田 一彦 議員

### 佐呂間町のごみ処理事業について

可燃ごみを処理している  
遠軽町の清掃センターは  
建替えるのか？

町長へ3町長の協議では、  
建替える方向で進んでいる。

【質問】

可燃ごみは遠軽町清掃センターにて処理しているが、清掃センターの更新計画が検討され、本年度中に「建替えるか、改修するか」結論を示すとのことですが、現段階の3町の話し合いの進捗状況についてお伺いいたします。

【答弁】（町長）

本町のごみ処理については、「生ごみと燃やすごみ」は遠軽清掃センターへ、「燃やさないごみと粗大ごみ」は知来の一般廃棄物処理場へ、「リサイクル資源」は上湧別リサイクルセンターで処理をしております。

遠軽町の清掃センターですが、現在2台の焼却炉を使用して平成5年より供用開始

しており、遠軽町単独使用時は8時間燃やして16時間冷やす使用法でした。

しかし平成14年から旧7カ町村で使用するようになったため、16時間燃やして8時間冷やす使用方法となり、処理量のオーバーにより焼却炉の補修、維持費が毎年5千万円と増大。年数経過のため部品調達が困難。故障時に近隣市町村での委託処理が不可能であること。

これらのことから6月9日に3町長にて協議をし、建替える方向で話し合いは進められました。

内容は、今後広域組合にて管理運営する。場所は現地で。1200度の燃焼温度で処理する施設。新聞の中

では事業費は35億円となっておりますが、これから内容を詰める予定で平成24年度から進めたいと考えております。

【質問】

スプレー缶のごみの出し方については、穴をあけてガスを抜き、ごみとして出すことを指示されています。

しかし、各地で台所で缶に穴を開けて火災ややけどを負う事例があり、環境省は都道府県に対し「スプレー缶の収集方法を穴を開けずに収集する」よう収集方法の見直しを文書で促したそうですが、佐呂間町のスプレー缶の取り扱いはいかがお考えですか。

【答弁】（町民課長）

確かに札幌とかでは穴を開けて事故が発生しており、スプレー缶の出し方については、もう一度検討したいと思っておりますので、もう少し時間をいただきたいと思います。

【質問】  
知来にある一般廃棄物最終処分場及び産業廃棄物最終処分場の今後の運営についてですが、特に一般廃棄物処分場は今後10年程度使用可能と聞きしています。

お  
今後、処理量が増えた場合、使用期間が短くなること  
が心配されますが、町長の運営に対する考えをお伺いいたします。

【答弁】（町長）

一般廃棄物処分場は、現在燃やさないごみと粗大ごみのみを埋め立てているが、処分場の今後の延命対策として幹部職員と現地調査の結果、ごみ搬入時の覆土の見直し、配水管がある一番低い場所を工夫し、埋め立て可能にする。これらにより20年以上は使用できる体制を組んでいきたい。

産業廃棄物の処分場は、廃プラスチックと木くずを中間処理施設で減量化しているが、1段目が一杯になれば2段目も遮水シートを張り延命を図りたいと考えています。

# 第2回定例会

・一般質問



小松正義 議員

## 町民意識調査の結果を

### どう受け止めるか！

町長、町の主役は町民であり、

回答、要望等を事業に反映したい。

## 第4期佐呂間町総合計画策定時に

### 実施された町民意識調査について

【質問】

グラフと表で見る佐呂間町民意識調査結果が掲載されているが、どのように受けとめられているか伺います。

【答弁】（町長）

自主自立の道を歩む佐呂間町として、地域の活性化をしていく主役は、ここに住む町民の方々であることを認識をさせていただくとともに、否定的な回答や今後の地域活性化に対する要望等も出されているのが事実で、行政を進める上で大いに参考にし、第4期佐呂間町総合計画を推進する事業の中で反映をさせていただきます。

【質問】

佐呂間町民の直近の意識の表れ貴重な資料、6、7割に

近い方々が住みやすい、定住したい意向を示しておられるが、反面佐呂間町のイメージでは明るくない、活気がない、特色的魅力がないと回答されています。

【答弁】（町長）

これは佐呂間町に住み続けたいと願う方々が、行政に自分たちが感じていることを変えてくださいという気持ちが出てくると感じますが、町長はどのように考えますか。

【質問】

町づくり、活性化の表を見ると地域住民協力、地場産業

の生産向上に住民が協力し、雇用の場を広げたいという意識が表れています。

【答弁】（町長）

今までも基幹産業を発展させようと進めているところで、地域活性化は、町民の方々の協力を得なければ達成できるものではありません。

【質問】

行政ができればって手を加えるという形ではなく、皆が守り育て、環境を大切にしながら佐呂間町のイメージをしつかり全道、全国に発信していくことを伝えさせていたいただきたい。

【質問】

本事業年度より始まる第4期総合計画で前期5カ年計画の実施に向けた基本的事業施

策について伺います。

前期5カ年にわたる間、実施状況管理について迅速に報告されることを望むことと、佐呂間厚生クリニックの改修が決議された場合、期間内の建設計画は変更されるのか伺います。

【答弁】（町長）

現状5年間の中には医師の確保が不可能という形で、今、手入れをしておりますが、この中で、医師が確保でき、厚生連毛病院復元をすることにすれば当然、総合計画にそって実施する考えはあります。

【質問】

医療問題体制について、特別委員会なり民間組織づくりで、医療の活性化、守る推進の考え方があるか伺います。

【答弁】（町長）

厚生クリニックばかりではなく、個人病院を含めた支援を議会ともどもやっていくという強いものがあれば、委員会的なものを立ち上げていただき、力を貸していただければと思います。

議会内で十分協議していただき決定してもらおうことが望ましいと考えます。



# 第2回定例会

・一般質問



但木早苗 議員

## 原発事故を受け再生可能な自然エネルギーへの取り組みについて

【質問】

福島原発事故は、世界にも大きな衝撃と危機感をもたらした。それは原発依存のエネルギーから自然エネルギーへの転換の流れとなってきました。

平成23年度町政執行方針で町長は、化石燃料に変わる再生可能なエネルギーを普及促進のため太陽光発電システムを設置する町民に支援を行い、低炭素社会の構築に努めると掲げておりますが、事故後自然エネルギーへの取り組みの考えに変化はありましたか。また、遊休地を利用した太陽光発電の取り組みについて考えがあるのかお伺いします。

【答弁】（町長）

## 原発事故後の自然エネルギーの取り組みの考えは！

町長より効率的・効果的なエネルギーが出てきた場合は施策としても考えたい。

工口対策を含め、低炭素社会に町も貢献しようとする太陽光発電の支持を打ち出したということです。

【質問】

遊休地利用の取り組みについては、事故後自然エネルギーの推進が重要視されておりますが、町としては現在実施している太陽光発電システムの補助制度を継続し、より効率的で効果的なエネルギーの導入が図られるものが出た場合には、新たな施策として実施していきたいと考えております。

【質問】

国の補助金が下がった中で今後太陽光発電システム設置事業を幅広く町民に普及するため、内容を検討する考えはありますか。

【答弁】（町長）

去年の実績で21件、驚異的な件数ではないかと思っております。

ます。町の方では従来の補助制度を堅持したいと考えております。

【質問】

太陽光発電の公共施設への設置は進んでいないようですが、考えをお伺いします。

【答弁】（町長）

公共施設の方まで考えていなかったのが本音です。そういったながらも今回の事故の中でこの問題を役場で論議しましたが、全ての公共施設において効率よく太陽光発電が利用できるものか検証を進めなければならぬと思っております。

【質問】

自然エネルギーに対して積極的な国の施策がない中でも、二セコ町の小型水力発電、寿都村、苫前町の風力発電等取り組んで実績を上げていくところがありますが、太

陽光発電以外の自然エネルギーについての考えをお伺いします。

【答弁】（町長）

火力、水力、太陽光も含めて、どれが一番いいかも含めしっかりと勉強させていただき、国の対策がきたときに、いち早く名乗りを上げ実施できるようなことも含めて検討させていただきます。

【質問】

これからは感知式電灯やLED電球の利用等で節電対策も必要かと思いますが考えをお伺いします。

【答弁】（町長）

節電対策は職員一丸となりやっております。パークゴルフ場も利用者が電源を入れ、切つて帰ります。

LED電球の設置については、体育館から学校の照明と順次切り替えていっております。LEDは設置費は高いですが、節電になるということで年度計画を組みながら交換していきたいと考えております。





# 第3回臨時会

第3回臨時会が7月7日に開催され、1件の議案審議を行い、原案のとおり可決しました。

- ・審議した議案
- ・町長行政報告



□工事請負契約の締結の議決事項の変更について  
 公営住宅新築工事（若佐団地）については6月定例議会で工事請負契約の締結について議決をしましたが、工事開始直後、地盤強度が弱いことが判明したため、基礎強度を増す工事に変更することとし、契約金額の変更を議決しました。

公営住宅新築工事（建築主体）

- ・契約の方法 指名競争入札
- ・契約金額
- 【変更前】 1億2810万円
- 【変更後】 1億2970万円
- ・工期 平成23年12月20日
- ・契約の相手方
- 佐呂間町字宮前町
- 高橋・岸特定建設工事共同企業体
- 代表者 高橋土建株式会社
- 代表取締役 高橋 俊道

## 町長行政報告 (要旨)

### 東日本大震災の支援として 石巻市に職員 4名を派遣!

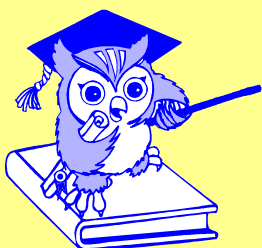
度市役所で事務支援をし、帰町の際に引き続き支援をお願いしたいとの強い要請を受けたとの事でした。

このことを受け、湧別町長から「牡蠣の養殖でお世話いただいている石巻市に支援をしてはどうか」との要請があり、両町で協議した結果、7月6日から8月2日までの約1カ月間、2町で人的支援を行うことと決定し、本町は7月20日から8月2日まで2名の2班体制で職員を派遣することで準備を進めております。

また、この派遣にかかる経費は、次期の議会において予算補正させていただきますこともあわせて報告させていただきます。

□東日本大震災にかかる石巻市への職員派遣について

サロマ湖で養殖している牡蠣は、宮城県石巻市の養殖業者から仕入れ、サロマ湖の特産品として全国に知られていますが、東日本大震災の被害にあったこの石巻市に対し、6月初旬に湧別町が1週間程



## 議会を傍聴してみませんか!!

第3回定例会は9月に開催されます

詳しくは議会事務局にお尋ねください



# 初めての議会報告会 を開催!



佐呂間町議会では、5月25日から27日にかけて町内3会場において議会報告会を開催しました。会場では参加された皆様より、議会・議会報告会及び行政全般に対して、貴重な意見・要望・提言をいただきましたので、その質問とお答えした内容をお知らせいたします。

**質**

**疑**

**応**

**答**

- 質** 合併は当面とあるが、総合計画の中でも自主自立をうたっている、きちんとした町づくりをしていく上で自主自立を明確に実現していく町づくりのツールとして「まちづくり基本条例」「議会基本条例」を作り、町のあるべき姿を明記していく。

**答** 合併は当面とあるが、総合計画の中でも自主自立をうたっている、きちんとした町づくりをしていく上で自主自立を明確に実現していく町づくりのツールとして「まちづくり基本条例」「議会基本条例」を作り、町のあるべき姿を明記していく。
- 質** 傍聴の人数は？

**答** 28名(年間)で横ばいである。
- 質** 今回配られた資料の字が小さいので大きくしてほしい。

**答** 大きくします。
- 質** 町の基金は？

**答** 基金は41億、備荒組合に4億で合わせて45億です。
- 質** 基金があれば町単独でやっていけるのか？

**答** 近隣の市町村財政状況も大変である中で、比較的財政推移は安定しているので当面、自立していく。
- 質** 基金があれば町単独でやっていけるのか？

**答** 近隣の市町村財政状況も大変である中で、比較的財政推移は安定しているので当面、自立していく。
- 質** 町単独でやっていけるのか？

**答** 近隣の市町村財政状況も大変である中で、比較的財政推移は安定しているので当面、自立していく。
- 質** 必要な人数は？

**答** 必要があるのでは。地域の活性化のために2つの条例を検討課題としてやっていきたい。
- 質** パークゴルフ場の芝の管理に問題があるが。

**答** 担当課に伝えておきます。(連絡済)
- 質** 今回の報告会はアピールが足りない。

**答** 広告折込が少し早くて、アピール不足を感じてる。次回は開催間近に宣伝も必要。今後の課題にしたい。
- 質** 開催の時期どうですか

**答** 3月議会から近い時期で4月の農作業前、稚貝の放流前が理想。
- 質** 若佐、札幌間のバスの便を増やすのと知床行きを作って欲しい。

**答** バス会社ではルールがあり難しいと言われているが再度、要望していきたい。
- 質** 総合計画のダイジェスト版は配布されたが、



5月25日 若佐コミセン

**質** 普通版はない。各公共施設やコミセンには置いてほしい。また、計画自体も文字の羅列で見づらい。

**答** 主要施設に配置するように要望します。  
(若佐コミセン、浜佐呂間活性化センター、武道館・温水プール、図書館に設置済み)

**質** 企業誘致をすべきでは。

**答** 全員協議会で森林組合の合併についての説明を受けた際、佐呂間地区に工場部門を誘致していきたい、更に東洋ゴム工業(株)の夏タイヤのテストコースの要請をしていると報告を受けました。

**質** 後期高齢者が増え「ふれあいバス」がよいところもあるが5年、10年後にもきちんと運営できるしくみを作ってもらいたい。

**答** 将来に向けて検討していきたいと思う。代替基金がなくなるので考えていきたい。

**質** 町政懇談会とこの議会報告会との違いはなに

**答** 行政からだけでなく議会としても財政を見ながら町民と共に考え、行政に伝えながら町民の皆さんとの距離を縮めたい。

**質** 議会の傍聴をしたいが仕事があり出来ない、日程を変えたり、夜とかに開催できないのか

**答** サンデー議会、ナイター議会などをやっている

**質** 町政懇談会とこの議会報告会との違いはなに

**答** 行政からだけでなく議会としても財政を見ながら町民と共に考え、行政に伝えながら町民の皆さんとの距離を縮めたい。

**質** 後期高齢者が増え「ふれあいバス」がよいところもあるが5年、10年後にもきちんと運営できるしくみを作ってもらいたい。

**答** 将来に向けて検討していきたいと思う。代替基金がなくなるので考えていきたい。

**質** 町政懇談会とこの議会報告会との違いはなに

**答** 行政からだけでなく議会としても財政を見ながら町民と共に考え、行政に伝えながら町民の皆さんとの距離を縮めたい。



5月26日 浜佐呂間活性化センター

**質** 議員報酬は誰が決めるのか

**答** 特別職報酬等審議会の意向によって決める。

**質** 医療問題、これから先も厚生連に頼るつもりか議会としてどう考えるのか?

**答** 9月に病院建替えの要請を提出した時点では無床化に関しては何もなく突然12月7日に厚生連から無床化しなければ、常勤医の確保が難しいと言われた。

**質** 12月21日に町長をはじめ各関係団体の代表者と議会で厚生連に出向き再度、病院存続を要請したが12月24日にやむなく無床という形を受け入れた。議会としても、いつになるかわからないが病院は必要だと考えている。

**質** 厚生連との契約書は? 厚生連との契約書については後日回答したい(協定書がありそれに基づいて運営している)

**質** 説明会の時に「転院した人が3ヶ月経過し、再転院しなくていいのか」と聞いたたら「心配しなくていい」と言われたが、現状は違っている。状況を知っているのか

**答** 今初めて聞いた、厚生連の動きがわからないので調査したい。(担当課に確認したところ相談には応じたいとのことです)



5月27日 佐呂間コミセン

**質** 現状はクリニックだが、厚生連との関係を見直すなど選択肢を広げることも考えるべきと思うが。

**答** クリニック維持という点で、厚生連との関係はすぐには解消出来ないが今後、地域医療維持のためにも民間病院も含めた中で検討していきたい。

**質** 今回の報告会について、これで終わらせないでほしい。定例会ごとにもやるのか

**答** 今後もありたいが、回数・時期は今後の検討課題。



その他、以下のような質問がありました。

- ・町民憲章に基づいてスタンスを持って町づくりをやっているのか

- ・10年後の次世代に繋ぐ議論を議員の中で討議すべき

- ・東日本大震災の義援金については積極性がない、もう一度精査してほしい

- ・役場の中に専門の対策室を置き、真剣に医療を考えてほしい

- ・クリニックでは企業検診（大人数）の対応が出来なく町外へ依頼している現状もある

以上、今回の報告会でいただいた質問・意見・提言と、答弁を取りまとめて記載しました。

また当日アンケート調査を実施し、皆様より貴重なご意見をいただいております。

皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。

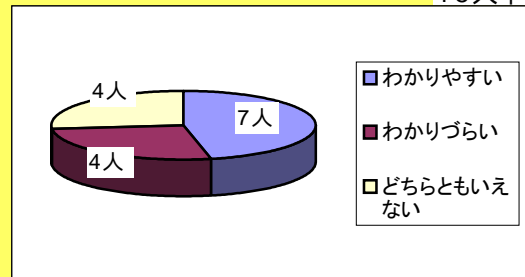
……自由意見あれこれ……

- ・開催日時等、吟味していただきたい。
- ・このような機会に町民がもっと参加してもらいたい。
- ・これからも報告会を年2回くらい開催して欲しい。
- ・議会報告会の開催PRを強化すべき。
- ・資料・表の作り方がわかりづらい。
- ・参加者が少なく残念。
- ・身近に感じる議会であって欲しい。
- ・多くの人達と話し合いができること、お願いします。
- ・この形がベストではないが、ぜひ続けてください。
- ・報告会を開催する意欲に感動し、出席。
- ・3会場での開催もすばらしい。
- ・町民の考え方を一度アンケートをとってみたいかどうか。

## 報告会アンケート結果

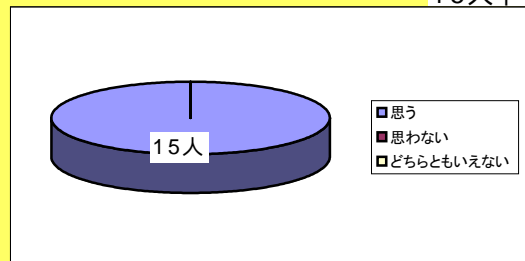
議会報告会の説明は、どうか

15人中



議会報告会を今後も開催すべきか

15人中



議会報告会の内容は後日、但木議会運営委員長から町長へ提出しました。

### 報告会を終えて

この度、佐呂間町議会の町民の声を聴く公聴活動の取り組みとして、5月25日～27日の3日間、町内3会場において議会報告会を開催したところ、町民の皆様にはご多忙にもかかわらず、参加をいただき、誠にありがとうございました。

さらには、皆様方から数々の貴重なご意見・ご提言・ご要望をいただき、議会としての機能を高め、将来に向けての発展ある議論を行うため役立てて参ります。

今回の報告会では会議進行・開催時期・開催時間・開催周知などについて多くの課題を残しましたが、次回以降の教訓として取り組んで参りますので、今後とも皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

佐呂間町議会 議長 吉野正剛

# 議会ニュース

議会の話題や出来事をお知らせします。

・ 常任委員会現地調査



家屋図作成用のパソコン

6月1日総務福祉常任委員会終了後、現地調査を実施しました。

**現地調査箇所**

- ・ 家屋図作成事業
- ・ 特別養護老人ホーム
- ・ 若佐コミセン
- ・ 浜佐呂間保育所

総務福祉常任委員会

常任委員会で  
現地調査を実施



駐車場が拡幅される若佐コミセン



厨房にエアコンが設置された特別養護老人ホーム



浜佐呂間保育所



佐呂間町立図書館



パソコンで確認の水道台帳

6月2日産業文教常任委員会終了後、現地調査を実施しました。

**現地調査箇所**

- ・ 水道台帳作成事業
- ・ 佐呂間町立図書館
- ・ 浜佐呂間終末処理場
- ・ 緊急雇用創出事業

産業文教常任委員会



緊急雇用創出事業として  
ヨモギ抜き作業が行われた  
キムアネツプキャンプ場



浜佐呂間終末処理場

# 議会ニュース

・ 議会の話題や出来事をお知らせします。

## 全道議員研修会 に参加！

7月4日に札幌市で開催された全道町村議会議員研修会に本町から全議員が参加しました。

この研修会では、東京大学・先端科学技術センター教授の御厨貴氏が「今後の政党政治の行方」との演題で、続いて経済評論家の内橋克人氏が「今後の日本経済展望」との演題で講演されました。

東日本大震災が発生し、復興途中の状況にある日本の政治の進む方向や、日本経済の今後の行方等についてのお話に、参加者は興味深く聞き入っております。



## 議会だよりに対するご意見・ご感想を

お寄せ下さい！

----- 議会事務局宛 -----

TEL 2-1291

Eメール

[gikai@town.saroma.hokkaido.jp](mailto:gikai@town.saroma.hokkaido.jp)



## 第3回定例会は9月に開催されます!!

日程の詳細は町広報9月号の折込みチラシを  
ご覧いただき、是非傍聴にお越しください。

## あとがき

### 「原発事故に思う」

いつたい、いつになったら東電福島第1原子力発電所の事故が収束するのだろうか。

原発をつくり、運転を始めたのは人間なのに、何が起こったときに、それを制御できないというのはどうした事だろう。人間は大変な過ちを犯してしまいました。

去年の宮崎県での口蹄疫に続き、今回の原発事故でも、沢山の家畜が犠牲となりました。元、酪農に携わったものとして、テレビに映し出される光景を見て胸を痛めています。

さらに、これからは一段と暑さが増してきます。原発事故の現場で作業をする方々は、放射能の恐怖に加え、全身を包む防護服の着用で熱中症にかかってしまったら命にも関わります。

ご家族の心情はいかばかりでしょう。今回の震災と原発事故で避難生活を送っている住民の方々にとっても、暑さは大変です。

どうかお元気で乗り越えてください、としか言いようがないのが何ともつらく、歯がゆく思います。

(佐藤昭男)